

さんかいばんれいとう ろくじぞう
三界萬霊塔／六地藏

未の満水で亡くなった人々を弔う

さんかいばんれいとう ひつじ
高森町市田の三界萬霊塔には、未の満水(1715(正徳5年)で亡くなった多くの人々や獣などの冥福を祈る言葉が彫ってある。1695(元禄8)年に松岡山安養寺の了溪禅師が建立した。六地藏は宝永年間(1704～1710年)に建立されたが、未の満水で流され、1841(天保12)年に再建された。



苦悩の人々をその無限の大慈悲の心で包み込む、6体の地藏菩薩像



三界萬霊塔

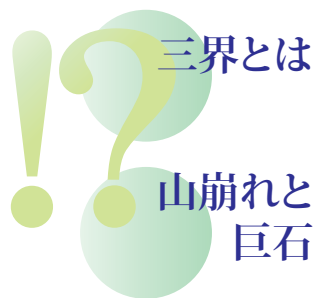
information

□ アクセス

飯田線市田駅から
100m
徒歩→1分

□ 所在地

高森町下市田



三界とは

欲界(欲の世界)・色界(物質の世界)・無色界(精神だけの世界)の三つの世界を指し、発生から死滅まで繰り返している世界で、三界萬霊塔はこの世の生き物全ての霊をこの塔に宿させているものである。

山崩れと
巨石

現在、堂所、川底、天白、上川原、市田橋付近から下市田まで、川尻の日影、出砂原等に折り重なって残る巨石は、すべて1715(正徳5)年の山崩れによって不動滝付近から押し流されてきたものと伝えられている。この時におびたしい人が難に遭ったといわれ、三界萬霊塔は、その人々を供養したものと伝えられている。



(国土地理院の数値地図25000(地図画像)を使用)